

電子資料

蔵書目録

雑誌全てと約233万冊の図書が検索できます。

<http://opac.library.osaka-u.ac.jp/>

電子ジャーナル

約19,500タイトルが利用できます。

<http://www.library.osaka-u.ac.jp/search/eresource/ejindex>

データベース

40種類以上のDBが利用できます。

<http://www.library.osaka-u.ac.jp/search/eresource/databases>

電子ブック

約7,300タイトルが利用できます。

<http://www.library.osaka-u.ac.jp/search/eresource/ebook>

衛星放送

CCTV4, VOAが視聴できます。

http://www.cmc.osaka-u.ac.jp/dlib/satellite_broadcasting/index.html

学位論文データベース

S32～H16年度の博論の要旨

<http://www.library.osaka-u.ac.jp/others/gakui/gakuian.htm>

電子展示

貴重図書コレクションを電子化し、公開しています。

<http://www.library.osaka-u.ac.jp/collections/e-exhb>

学術情報リポジトリ

大阪大学学術情報庫 OUKA (Osaka University Knowledge Archive) は、大阪大学の学術成果ポータルとして本学研究者の学術成果を一括して保管し、公開しています。これにより大阪大学の研究成果を国内外に広く発信し、大学の社会的説明責任の一環を果たしています。

OUKAには、大阪大学の学位論文、紀要掲載論文を中心に、著作権のクリアされた学術雑誌論文等も含めて、平成24年3月31日現在、一次情報のコンテンツ21,109件が収録されています。

<http://ir.library.osaka-u.ac.jp>

広報

阪大図書館かわらばん(月刊)

ウェブサイト <http://www.library.osaka-u.ac.jp/>

Twitter @OsakaUnivLab

大阪大学図書館報(年4回刊行)

大阪大学附属図書館年次報告・自己点検評価報告書(年刊)

沿革

大阪大学附属図書館

昭和 6年(1931)	大阪帝国大学創立、大阪帝国大学附属図書館を医学部構内に設置
8年(1933)	大阪工業大学の国立移管に伴い、工学部図書分室を開設
21年(1946)	附属図書館が医学部記念会館に移転。医学部・理学部に図書分室を開設
22年(1947)	大阪大学に改称、大阪大学附属図書館となる
23年(1948)	法文学部設立、図書分室を開設
25年(1950)	「大阪大学図書館委員会規程」制定、10図書分室体制
27年(1952)	図書分室を分館と改称。附属図書館は一般教養部南校へ移転
28年(1953)	附属図書館を一般教養部北校へ移転
35年(1960)	中之島分館竣工、医学部・理学部・歯学部・微生物病研究所・蛋白質研究所・医学部附属病院の各分館を統合 教養部北校・南校の両分館を統合して移転
41年(1966)	平日・土曜日の時間外開館を開始、本館第2期工事
45年(1970)	吹田分館竣工、工学部分館と産業科学研究所分館を統合。本館・3分館(中之島・吹田・薬学部)体制
46年(1971)	本館増築工事完成(現、(棟及び書庫棟の一部)、開架図書室の大幅拡張)
52年(1977)	中之島分館が医学・生物学系外国雑誌センター館に指定
63年(1988)	学内OPACサービスを開始
平成元年(1989)	CD-ROM情報検索サービスを開始
3年(1991)	中之島分館が吹田地区に移転
4年(1992)	中之島分館・薬学部分館・歯学分室を統合し生命科学分館を設置、本館・2分館(生命科学・吹田)体制
8年(1996)	図書館WWWホームページを開設
11年(1999)	附属図書館研究開発室を設置
12年(2000)	本館新営(現A棟)・改修工事が竣工、理学部図書室・基礎工学部図書室を統合
16年(2004)	国立大学法人へ移行
18年(2006)	一般市民への図書貸出サービスを開始
19年(2007)	大阪外国語大学統合に伴い箕面分館が発足
21年(2009)	図書館名を変更、ラーニング・commons設置
24年(2012)	外国学図書館にラーニング・commons「るくす」開設
大阪外国語大学附属図書館(昭和24年5月～平成19年9月)	
昭和24年(1949)	大阪外国語大学が設置、附属図書館発足
29年(1954)	上八学舎に図書館完成
41年(1966)	新館書庫増設
54年(1979)	箕面市へ大学移転。新図書館完成
平成16年(2004)	AVライブラリーが総合研究棟に移転
19年(2007)	大阪大学と統合し箕面分館となる

大阪大学附属図書館要覧

2012



理念

大阪大学は、その理念・目標に基づき、世界最先端の研究および教育の実現に不可欠な全学的組織として大阪大学附属図書館(以下、「図書館」とする)を設置し、学術情報基盤を完備した知の拠点の構築をめざす。

この任務の遂行のために図書館は、最先端の学術情報、利用者支援サービス、および豊かな学習・教育・研究環境を、学内者はいまでもなく地域・社会の利用者に広く提供し、学内各組織と協力し、学外の学術機関とも積極的に交流して、学術活動の進歩に奉仕する。

(平成20年2月13日 図書館委員会承認)

大阪大学附属図書館

URL:<http://www.library.osaka-u.ac.jp>

総合図書館

〒560-0043 豊中市待兼山町1-4

TEL:06-6850-5067

生命科学図書館

〒565-0871 吹田市山田丘2-3

TEL:06-6879-2415

理工学図書館

〒565-0871 吹田市山田丘2-1

TEL:06-6879-7187

外国学図書館

〒562-8558 箕面市粟生間谷東8-1-1

TEL:072-730-5126

2012年5月31日発行

施設

(平成24年3月31日現在)

		総合図書館	生命科学図書館	理工学図書館	外国学図書館	合計
建物		地上6階	地上4階	地上3階	地上5階	
面積	利用者面積	8,689 ㎡	4,041 ㎡	3,301 ㎡	3,147 ㎡	19,178 ㎡
	書庫面積	5,594 ㎡	0 ㎡	609 ㎡	1,493 ㎡	7,696 ㎡
	業務用面積	1,196 ㎡	1,048 ㎡	360 ㎡	1,157 ㎡	3,761 ㎡
	その他	3,451 ㎡	1,392 ㎡	944 ㎡	1,402 ㎡	7,189 ㎡
	小計	18,930 ㎡	6,481 ㎡	5,214 ㎡	7,199 ㎡	37,824 ㎡
座席数		1,469 席	363 席	664 席	512 席	3,008 席
利用者端末数		134 台	34 台	46 台	25 台	239 台
収容可能冊数		1,635 千冊	518 千冊	438 千冊	525 千冊	3,117 千冊

総合図書館



A棟2F メインカウンター



B棟3F 端末ゾーン



B棟4F サイレントゾーン

生命科学図書館



1F ゲート、カウンター



4F AVホール



4Fラーニングリソースセンター

理工学図書館



西館1F ラウンジ



西館2F グループ学習室



西館3F 図書館ホール

外国学図書館



1F カウンター



3F 地図コーナー



4F AVホール

蔵書

(平成24年3月31日現在、図書室を含む)

		総合図書館	生命科学図書館	理工学図書館	外国学図書館	合計
蔵書冊数	館内	1,309 千冊	445 千冊	335 千冊	591 千冊	2,680 千冊
	研究室等	1,112 千冊	9 千冊	154 千冊	32 千冊	1,307 千冊
	小計	2,421 千冊	454 千冊	489 千冊	623 千冊	3,987 千冊
雑誌種類数	日本語	21,114 種	4,095 種	3,657 種	5,032 種	33,898 種
	外国語	16,537 種	14,521 種	5,646 種	2,031 種	38,735 種
	小計	37,651 種	18,616 種	9,303 種	7,063 種	72,633 種
図書受入数		34,375 冊	6,844 冊	4,326 冊	7,634 冊	53,179 冊
雑誌受入数		9,380 種	2,304 種	1,103 種	1,273 種	14,060 種
電子ジャーナル		19,519 タイトル		電子ブック		7,273 タイトル

主要なコレクション

懐徳堂文庫

1724年に大坂町人によって設立された学問所「懐徳堂」は大阪大学の源流の一つとされています。

この文庫は、懐徳堂の記録、和漢の経書、史書、及び歴代教授の自筆稿本からなる3万7千点あまりからなり、昭和24年に本学法文学部から文学部が独立したのを機に懐徳堂記念会から寄贈されました。

適塾関係資料

懐徳堂のすぐ近くにあった適塾は、大阪大学のもう一つの源流とされています。

このコレクションは、緒方洪庵及び適塾関係者の業績を顕彰する重要かつ基本的な図書等の資料で、適塾記念会収集の約70点からなります。

石濱文庫

石濱純太郎博士旧蔵の約42,000点に及ぶ東洋学コレクション。モンゴル語・満州語・西夏語・ウイグル語・チベット語等に関する資料が数多く納められています。

大型コレクション

全国共同利用を目的として、昭和53年度から平成14年度までの間に文部科学省の予算措置を受けて収集した特別資料です。ロバート・オーエン・コレクションなど30種類。



『摂津名所図会』(1798)



『西洋事情』(1866)

サービス

(平成24年度)

		総合図書館	生命科学図書館	理工学図書館	外国学図書館	合計
開館時間	授業期	平日	8:00~22:00	9:00~21:00	9:00~22:00	9:00~21:00
		土日	10:00~19:00	10:00~17:00	10:00~19:00	10:00~17:00
		祝日	10:00~17:00	休館 *1	10:00~17:00	休館
	休業期	平日	9:00~19:00	9:00~21:00	9:00~17:00 *2	9:00~17:00
		土日	10:00~17:00	10:00~17:00	10:00~17:00	10:00~17:00
		祝日	休館	休館	休館	休館

*1 2月のみ10:00~17:00

*2 8月のみ平日9:00~21:00

(平成23年度実績)

		総合図書館	生命科学図書館	理工学図書館	外国学図書館	合計
年間開館日数		334 日	344 日	351 日	341 日	
入館者数	学内者	752,355 人	120,774 人	244,079 人	90,279 人	1,207,487 人
	学外者	36,148 人	12,975 人	13,773 人	4,255 人	67,151 人
	小計	788,503 人	133,749 人	257,852 人	94,534 人	1,274,638 人
貸出冊数		227,778 冊	29,698 冊	67,623 冊	50,543 冊	375,642 冊

先進的な取り組み

ラーニング・commons

総合図書館、理工学図書館、外国学図書館にあるラーニング・commonsは、自主的、自立的な学習活動を支援するため、図書館が所蔵する図書や雑誌と電子ジャーナルやデータベースなどの電子資料の双方を自由に利用できる、ネットワーク環境が整った共有の空間(commons)です。また、ラーニング・commonsは学生また教員が互いにコミュニケーションを取り合い、共に考え、ディスカッションする主体的な「学びの場」であり、「創造の場」「発想の場」でもあります。



ラーニングcommonsでは、教員による少人数セミナー型授業や図書館職員と教員との協働によるライティング指導講習会などが実施され、教育の実践の場としても積極的に活用されています。さらに、ティーチング・アシスタントとして大学院生を配置し、専門知識を活かした学習相談や利用指導、講習会の企画・実施や選書、パスファインダーの作成など、多様なアプローチで、人による学びのサポートにも力を入れています。